

成人向

御

魂

祭

Ⅳ



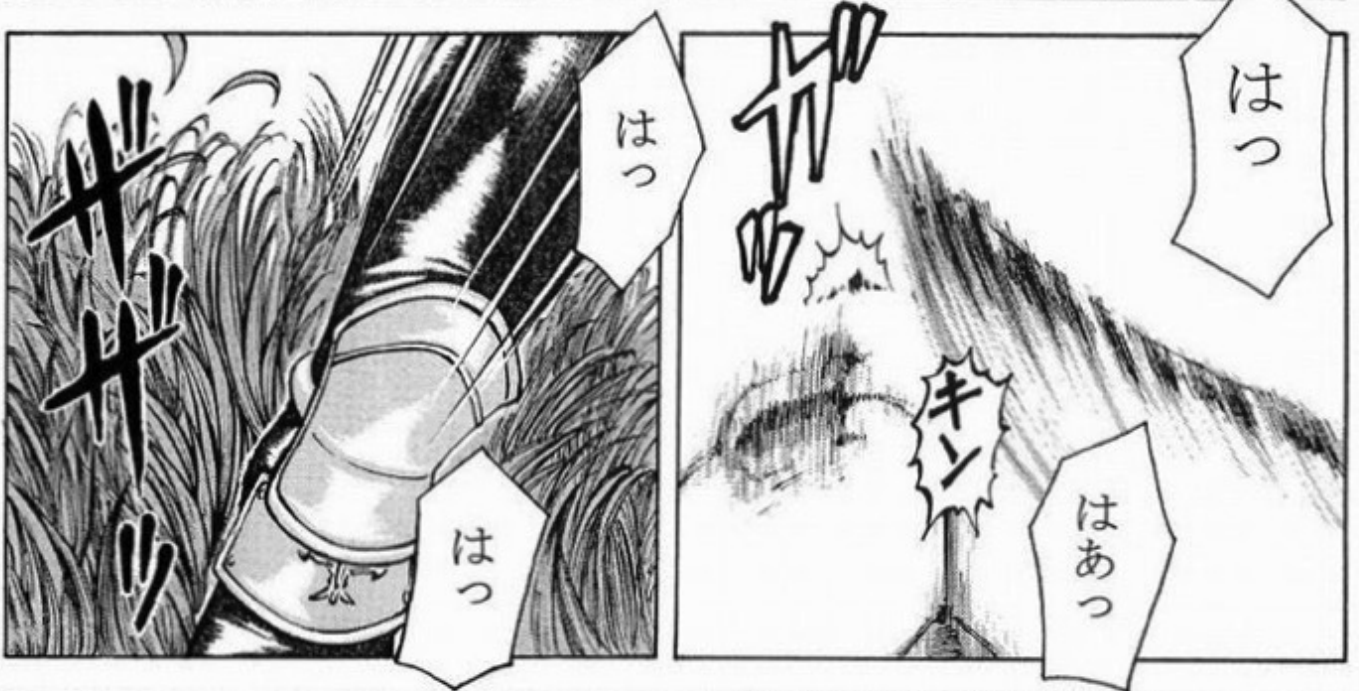
御

魂

祭

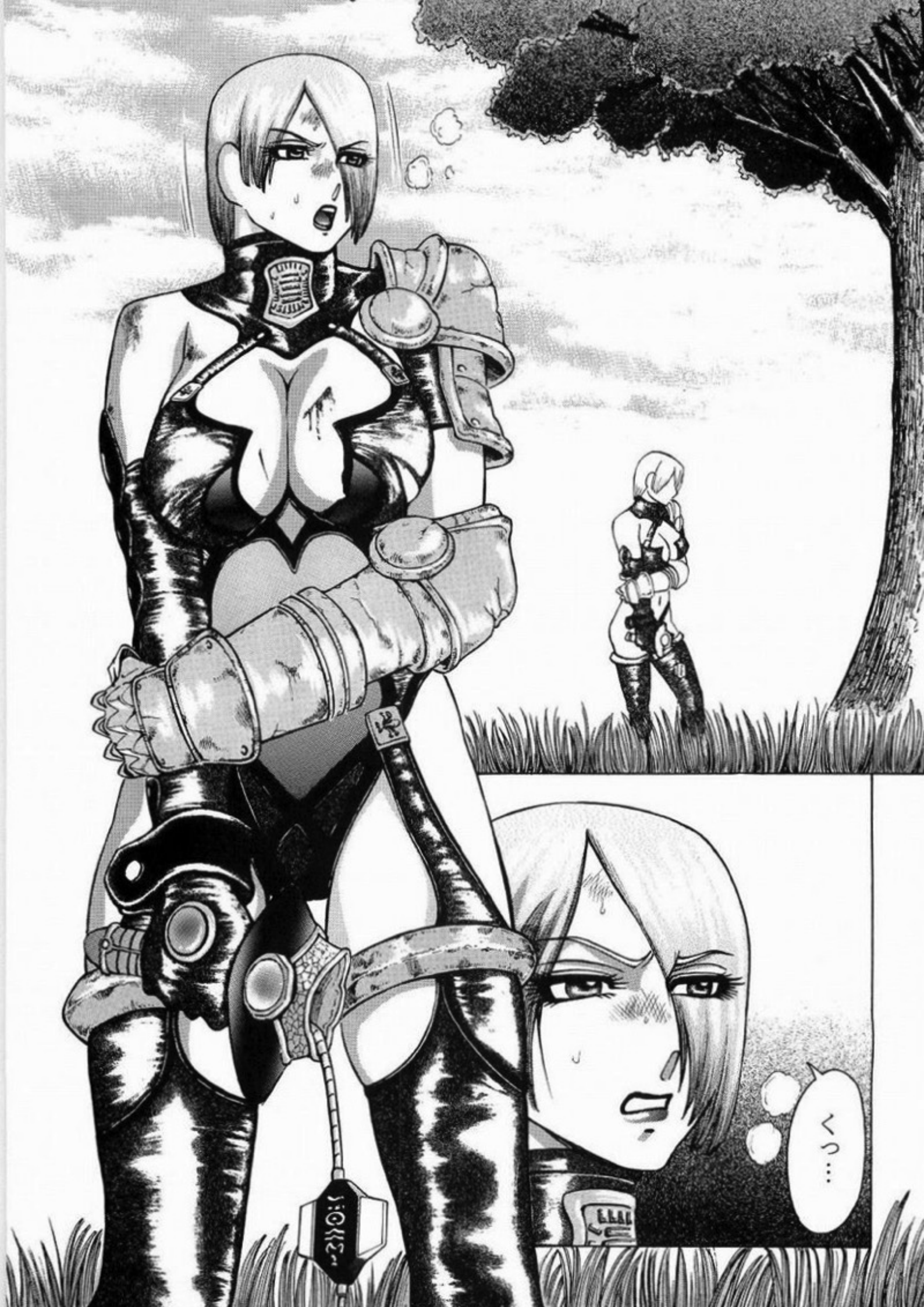
III







なら、この辺りで止め
にした方がいい





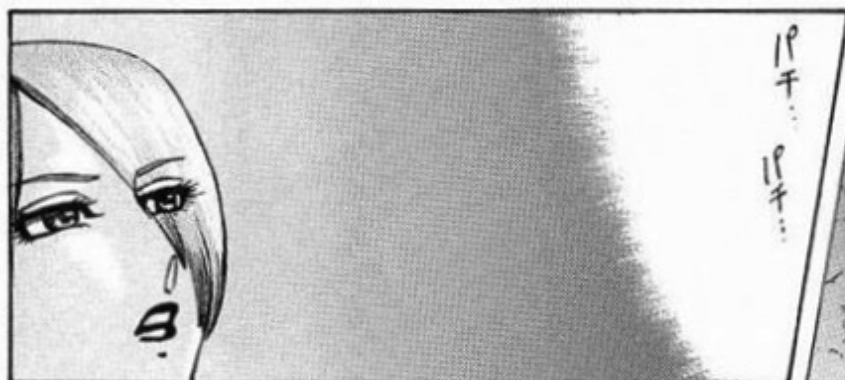
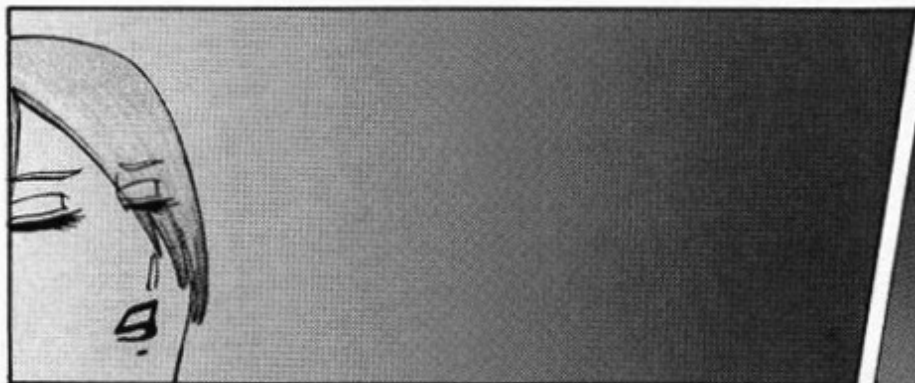


はーん



はーん





IPチ…
IPチ…



これは…



気がついたか？

ガバッ



具合は
どうだ？



礼なら、あの子に
言ってくれ



何故、私を
助けた？



そうでなければ、
あそこに放っておいた
ままだったろう

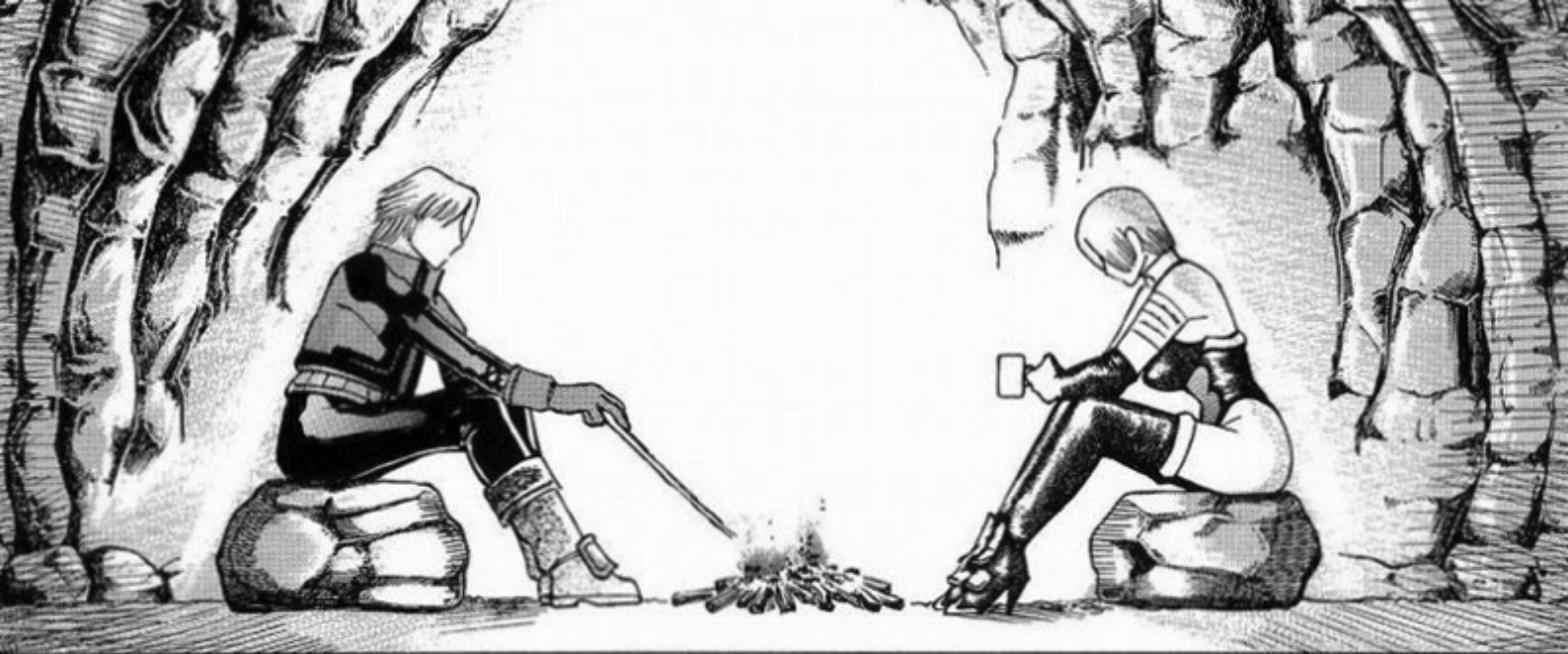
.....



あんたに何かを
感じたらしい



飲むか？





どうしてそう
思う？

なるほど…

あなたがソウル
エッジを追うのは
彼女のためね？



あなたが
うらやましいわ…



今まで闘ってきた
相手は皆、自分の
信じるもののために
闘っていたわ



私には、信じ
られる物など
何もない…

そうでは
なからう



あなたが信じているのは
あの子だけのよう
に
思えたから



それが目に見えるか
見えないかの違いに
すぎん

あんたの言葉を借りる
なら、あんたは既に何か
を信じている

え？



全くだ。私も
柄になくじよう舌
になつていたらしい

だってそうでしょう？
さっきまで命のやりとり
をしていた相手と
こんな話するなんて…



ありがとう…



ひよっとして、
あの子はこう
なることに
気付いていた
のだろうか？



フ、フフフツ

どうした？
何がおかしい？







いい体だ...

あっ...

ああっ

はあっ

あっ

ぎゅむっ

ぎゅむっ

ずい分、感じ
やすいんだな

あっ...
あっ



誰でもって
わけには



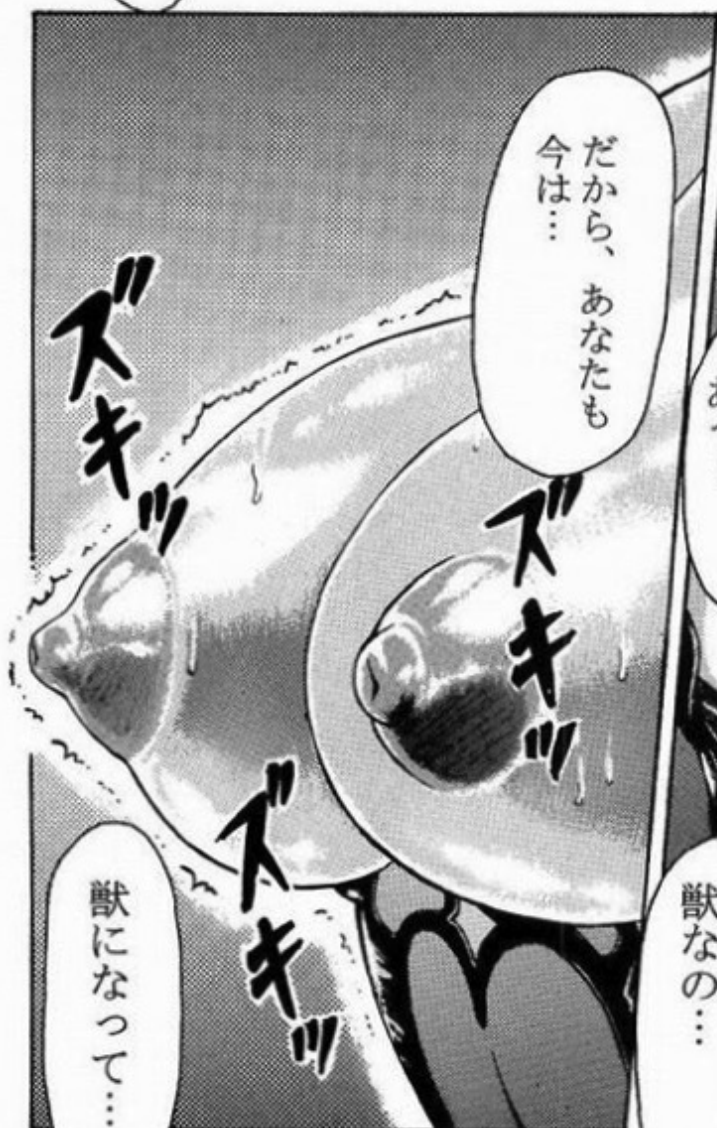
はあ…

あなたから出る
オスの匂いのせいよ…



いかないわ…

ズキッ
ズキッ
ズキッ



だから、あなたも
今は…

獣になって…

ズキッ
ズキッ
ズキッ



そ、そうよ
あつ…

私は今、メスの
獣なの…

なるほど、発情した
獣の匂いか…





ううん♡
いいわっ…

ガクッ

あ♡

は♡

ガクッ

イキムッ
イキムッ
イキムッ



ガクッ

ね、ねえ、あなたも
私のメスの匂い…
感じてる？



んんっ…はあ
そこ…

くしゅっ

あ♡



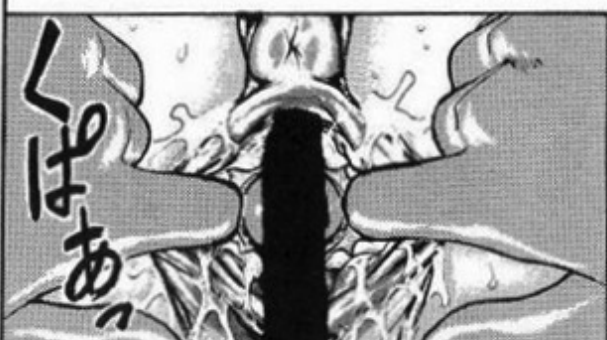
くはめっ♡

きゅっ













くじけくじけく

くじけ...

ズブズブ



はぁ、はぁ

い、いいわ
動いて...



さげちやいそう...

ミキッ

ミキッ

ミキッ

ああ、太いわ...





本当？
うれしいわ…

あんっ

ゴニイスッ

アキヤッ

アキヤッ



あんたの方こそ
すごいしめつけた…



三千ッ

三千…

これほど具合のいい
穴には、お目にかかった
ことがない…



ん…

チヌッ…



いんどせ…

ねえ、もつと
激しく突いて…



はあっ

アキヤッ

はあ

アキヤッ

はあああっ♡

ううん♡

ぷはあっ

あっ

ううん♡

ジュキッ

ジュキッ

んああっ!!

ずるるる

奥の奥まで...

もつと...
突き刺してっ



ジュキッ

ジュキッ

はっ

はっ



あー
あーあー!

くわん

くわん



す



くわん

くわん



ぎゅん

くわん



はっ

あ

いっ
いっ
いっ...♡



あ

そ、そんなに
しちゃ...

ハッ
ハッ

ああん

ハッ

ハッ

グニョ

グニョ

グニョ





あああーっ!!

びしょ

くっ



ひんひん...

びしょびしょ

びしょびしょ

どろどろ

あ...
でてるっ...



びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ



あんたの体…
最高だぞ…

あなたも…
素敵だわ…

お望みとあらば
もう一汗かいて
みるか？

あん…

あ…また中で
大きくなってきた…

ふふふ…

是非、お願い

したいわ…



はっはっはっ!!

ブレン

ブレン

スト

スト

スト

スト

スト

いっ!!

あっ!

うん



うん

ギン

ギン

あっああ



ニマ

ニマ

ギン

ギン

も、もつと
突いてえっ

んあ



あん

ギン

ちゅぽ
ちゅぽ

闘いの日々の中で

私の心に侵食してくる



たとえようもない

喪失感と虚無感



自分が生きているのか

死んでいるのかもわからない



まるで時空の狭間の
深い闇に浮いているような
そんな不安と孤独



そんな時、私はあなたの
ような男に抱かれて、
貫かれるの



そして、私の中の女を
呼び覚まして



私は生きている実感を
とりもどすのよ

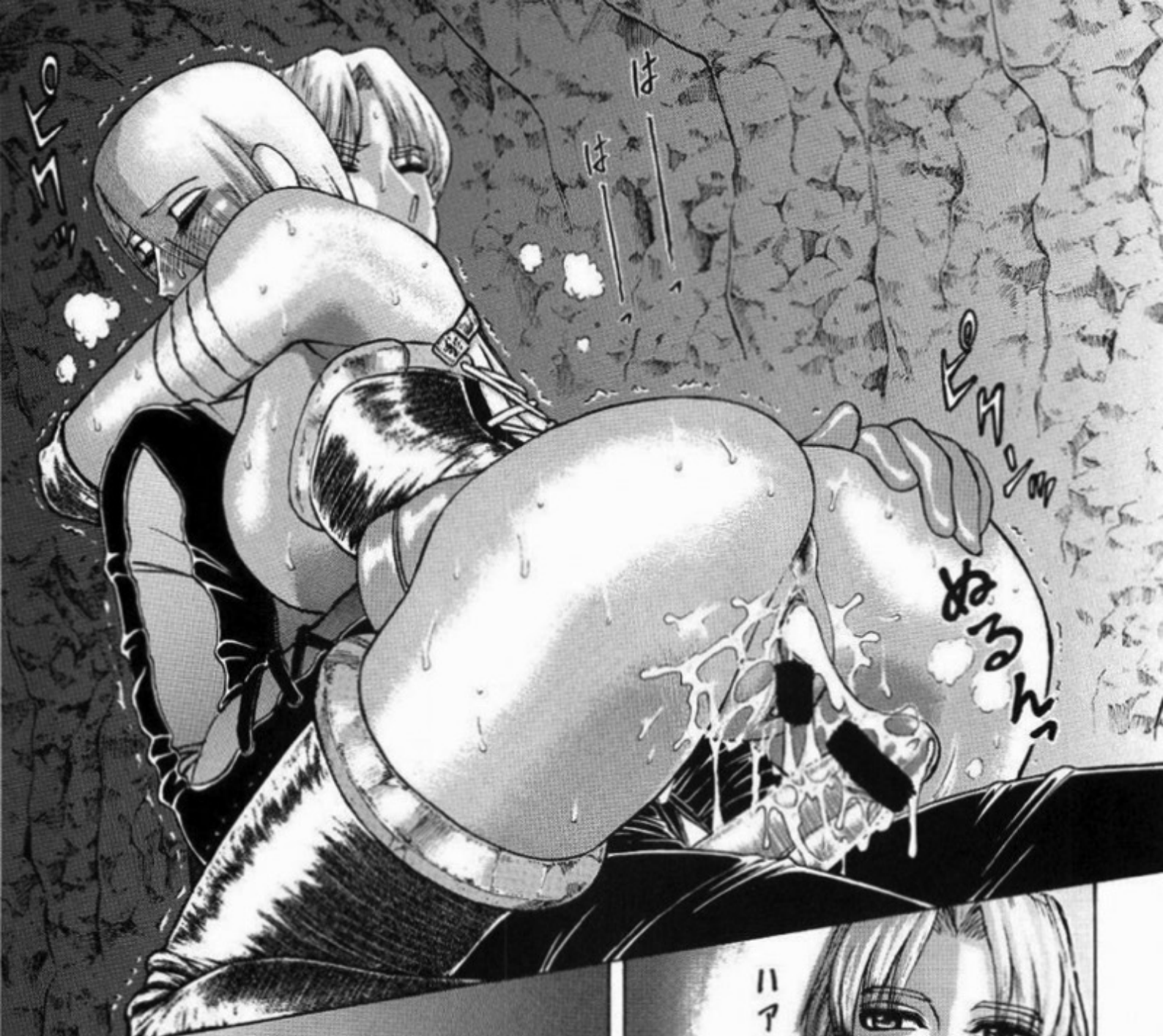
あなたは気付いて
いたのでしょうか？

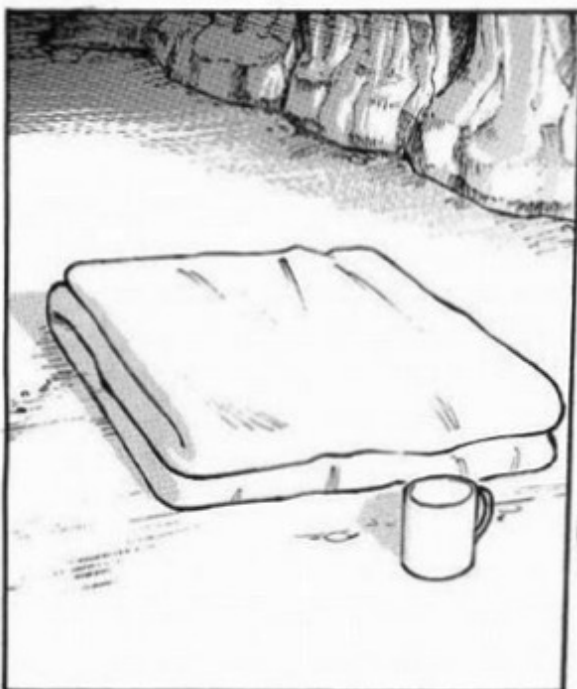
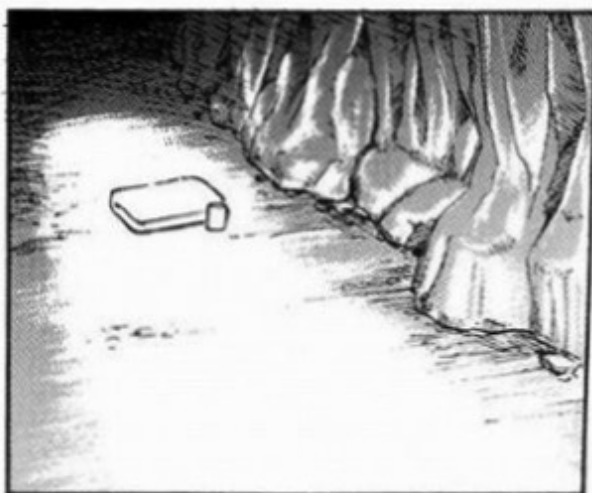


だから、何も聞かずに
私を抱いてくれたのよね？











その時を楽しみに
しているぞ…



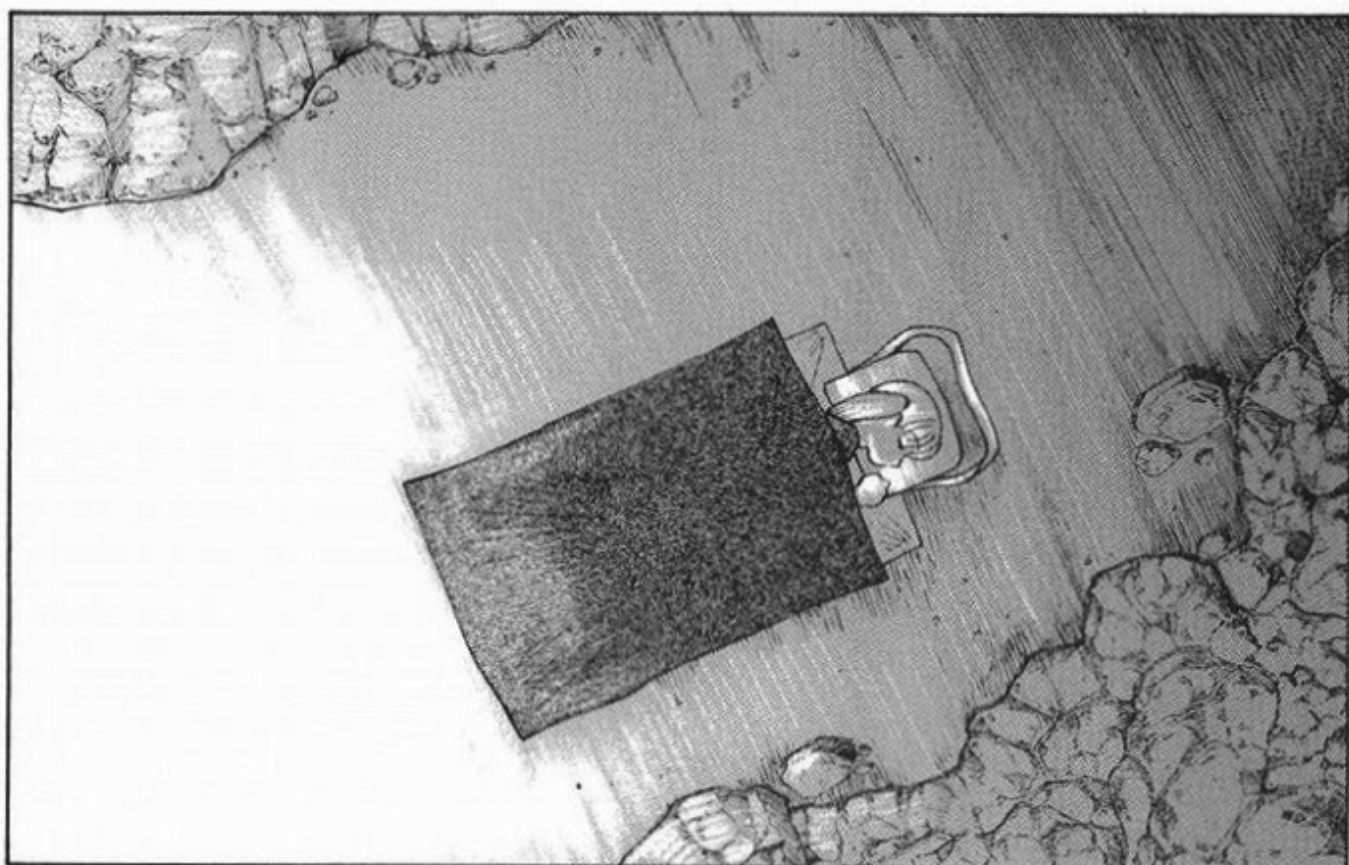
さあ、我々も
いこう…



いずれ、ソウルエッジが
あの女と我々を再び
引き合わせるだろう



挿話







!!
!!

!!

!!

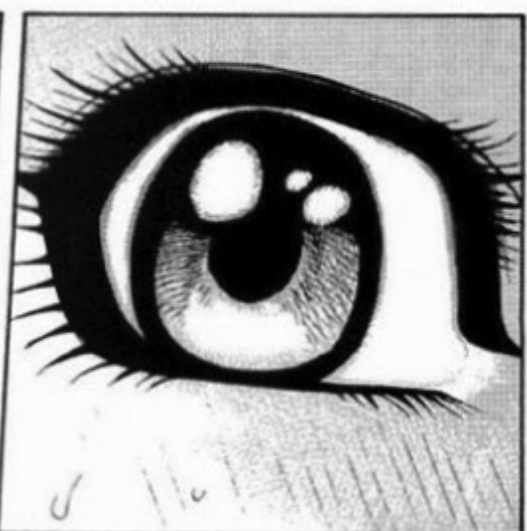
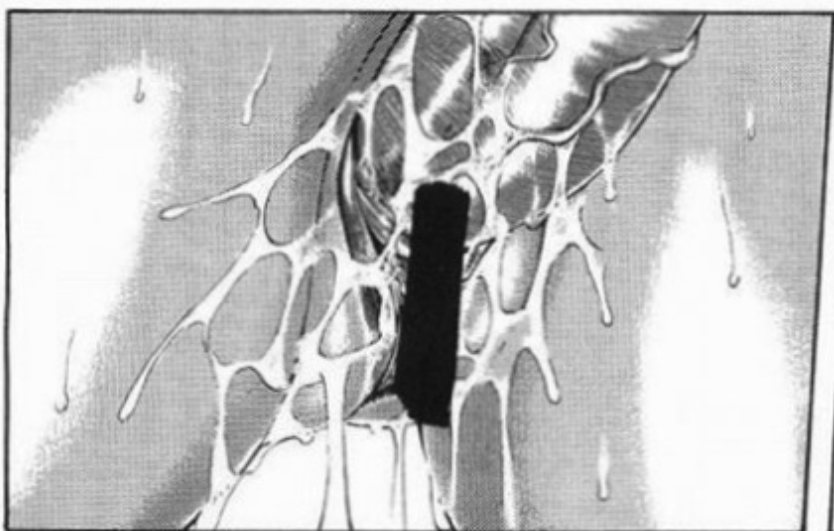
あっ

あー

あんっ



!!









あ
あ
あ

あああ

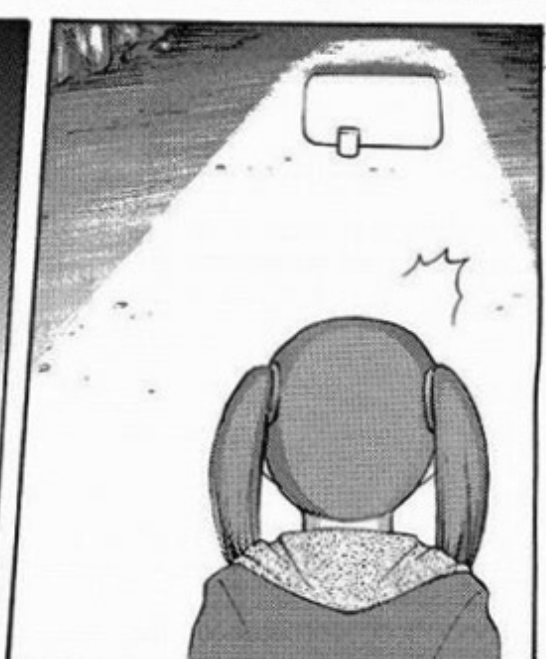
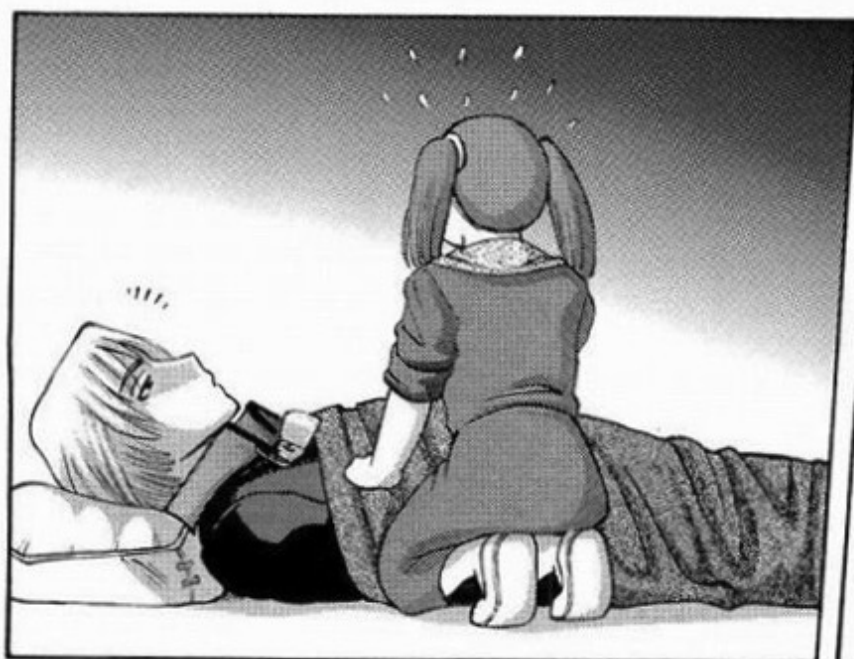
っ

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド

ド
ド
ド
は
は



あとがき

この度は、「御魂祭Ⅲ」完全版をお買い上げ下さり誠に有難うございます。また、パイロット版を買って下さった方は、大変お待たせしました。作者の菊水捷一でございます。

当初は、本来載せる予定だったもう一本の漫画を完成させるだけの予定でしたが、進めていくうちに、あれもこれもと欲張っているうちに、ひと月過ぎふた月過ぎ、気がつけば冬になっておりました……。相変わらずの計画性の無さです……。

本当はもう一冊同時進行で進めていたのですがどっちつかずになる可能性が高くなり、やむをえず、今回は持ち越しとなりました。大変申し訳ありませんが、来春には発表いたしますのでどうか今しばらくのご猶予を……。

最後にこの本の完成に手を貸して下さった

かぺり様 *ruined* 様 *nonsuch* 様

みっしー様 しまじろう様 コーラさん様

ジョニー様

各氏に厚く御礼申し上げます。

それでは、春にお会いしましょう。

平成16年12月 菊水捷一

奥付

発行責任者：菊水捷一

発行元：菊水庵

印刷所：コーシン出版様

発行日：平成16年12月

本作品へのご意見、ご感想はこちらへ

kikusui@xa3.so-net.ne.jp

※本作品の無断転用並びに無断転載はおやめください

菊水庵

製謹